

一級河川鳴瀬川水系 鳴瀬川 漆沢ダムの効果(平成27年9月10日～11日)

宮城県

○漆沢ダムでは、平成27年9月10日～11日にかけて、台風18号に伴う大雨により、**流域平均の累計雨量が473mm、最大時間雨量では49mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画650m³/sに対し、**416.02m³/sを記録し、これは、既往最大3番目の流入量です。**

○今回の洪水調節により**最大流入時の64.9%(270.00m³/s)を貯留し、**下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



漆沢ダムの洪水調節実績

・洪水調節 開始	10日 17時 0分	終了	11日 3時 30分
・ダム流域累計雨量	473 mm	(6日 14時 ~ 11日 9時)	
・最大時間雨量	49 mm	(10日 22時 ~ 10日 23時)	
・ダムへの最大流入量	416.02 m ³ /s	(10日 23時 40分)	
・最大流入時の放流量	146.02 m ³ /s		
・ダムによる最大調節量	270.00 m ³ /s	(約 64.9%)	

ダムの状況写真



貯水位 248.51m

(洪水前 8月24日13時頃)



貯水位 262.87m

(洪水後 9月11日9時頃)

漆沢ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 64.9% をダムに貯留しました。

最大流入時の放流量
146.02 m³/s

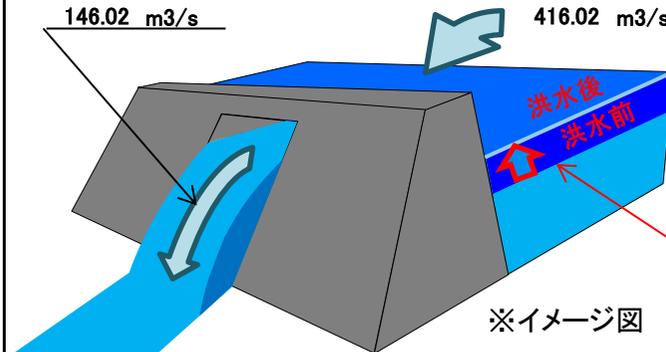
最大流入量
416.02 m³/s

洪水調節開始時の貯水位
260.8 m

洪水調節時の最高貯水位
263.30 m

最大貯留量
1,397 千m³

2.50 m上昇



※イメージ図

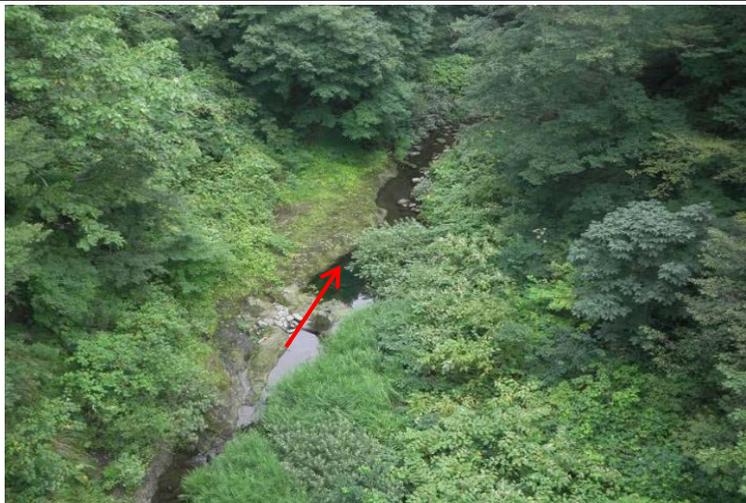
一級河川鳴瀬川水系 鳴瀬川 漆沢ダムの効果(平成27年9月10日～11日)

宮城県

○ダム下流の鳴瀬川では、中新田地点の最大水位がはん濫注意水位をやや超えておりました。

○漆沢ダムの洪水調節等により、この中新田地点で、**水位を約0.40m低減させる効果**があったものと推測されます。仮にダムが整備されていなかった場合、さらに水位上昇する恐れがあり、ダムの効果により、河川が氾濫する危険が軽減されました。

下流河川の状況写真

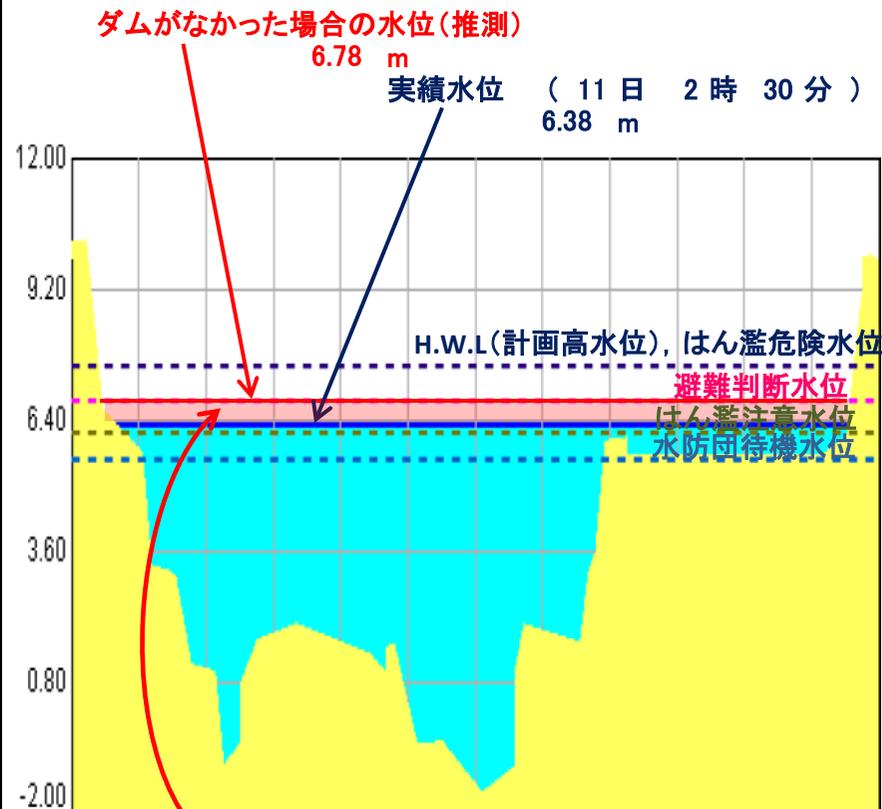


漆沢ダム直下流地点(洪水前)



漆沢ダム直下流地点(洪水後)

鳴瀬川(中新田地点)の水位低減効果



ダムにより約0.40mの
水位低減効果を推測